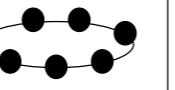
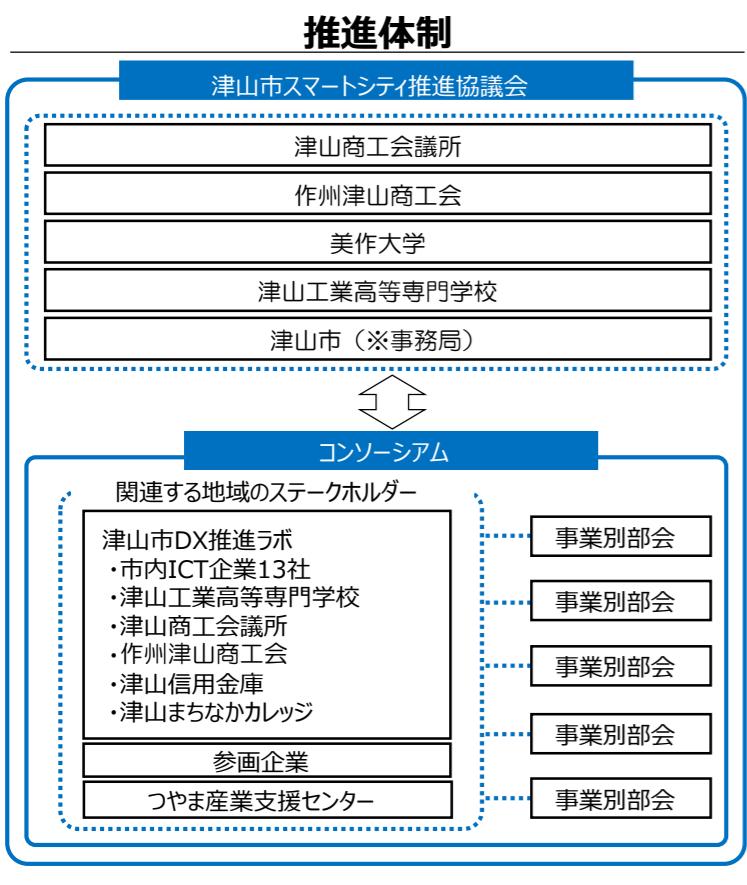


基本理念・基本原則

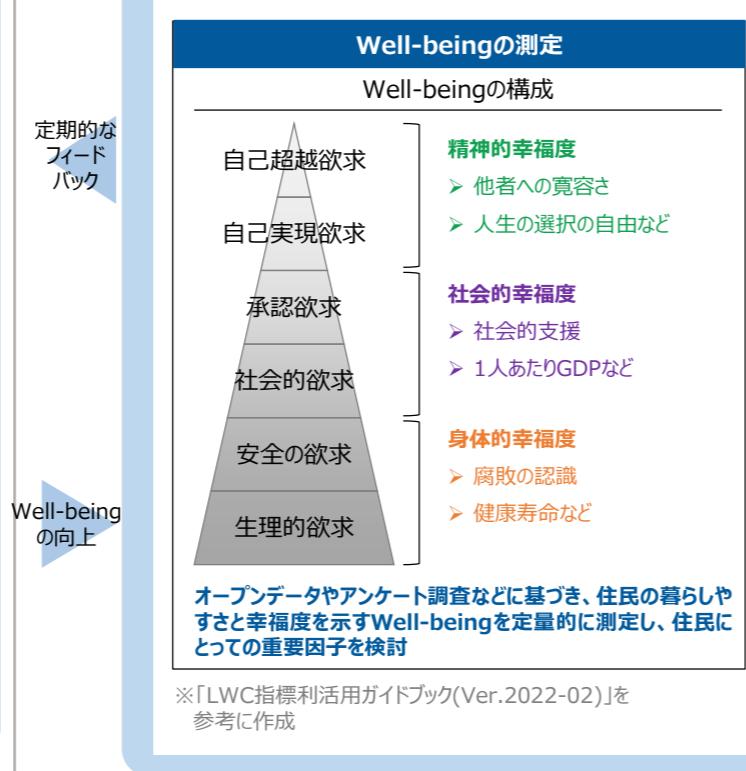
基本理念	A 住民(利用者)中心主義	B ビジョン・課題フォーカス	C 分野間・都市間連携の重視		
	“Well-beingの向上”に向け、住民目線を意識し、住民自らの主体的な取組を重視 	「新技術」よりも、「課題の解決、ビジョンの実現」を重視 	複合的な課題や広域的な課題への対応等を図るために、分野を超えたデータ連携、自治体を越えた広域連携を重視 		
基本原則	1 公平性、包摂性の確保	2 プライバシーの確保	3 相互運用性・オープン性・透明性の確保	4 セキュリティ・レジリエンシーの確保	5 運営面、資金面での持続可能性の確保
	全ての住民が等しくサービスを享受し、あらゆる主体が参画可能なスマートシティの実現 	パーソナルデータの利活用を進めるにあたり、住民のプライバシーの確保を徹底 	都市OSにおける相互運用機能、オープンなデータ流通環境、意思決定プロセス等における透明性等を確保 	プライバシー保護や災害等の緊急事態への備えとしてセキュリティ、レジリエンシーを確保 	地域に根ざした持続的なスマートシティの実現に向け、運営面、資金面での持続可能性を確保 

※内閣府・総務省・経済産業省・国土交通省「スマートシティガイドブック(2021.04ver.1.00)」を参考に作成

推進体制



Well-being向上を目指した構想推進サイクル



推進スケジュール

	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)
工程	構想策定 推進体制整備 	サービスの早期実装 効果の早期創出 		サービスの追加実装 
PR 構想浸透		PR・住民への構想浸透		
推進体制		定期的な推進会議 (調査・サービス実装検討・メンバ追加検討・分科会立上げ)		



津山市スマートシティ構想の
電子データはこちら ※6M程度のPDFファイルです

津山市スマートシティ構想 概要版

デジタル化の推進は、地域の産業の生産性や生活の質の飛躍的な向上をもたらし、地域の魅力を高める大きな可能性を持っています。

全国で様々な分野でデジタル技術の活用が進み、社会のあり方や産業構造が急速に変化する大変革期を迎えており、本市においても、デジタル化を始めとした社会変革への早期対応が課題となっています。

本構想では、「産業・観光/文化」「交通」「行政」「教育」「健康寿命」「環境/エネルギー」「IT基盤」の7分野について、本市の課題を踏まえ、目指す姿とデジタル技術を用いた取組の方向性を示しました。併せて、本市のみならず全国的な課題となっているデジタル人材の育成の取組を具体的に示しています。

構想の推進にあたっては、官民共創による取組を充実し、住民一人一人に寄り添ったサービスの提供を通じて、暮らしへの満足度や幸福感（Well-Being）の向上を図り、将来にわたって「住み続けたい」と感じられる便利で快適なまちの実現を目指します。

令和5年3月
津山市



津山市スマートシティ構想の目指す将来像

少し先の未来の、便利で快適な技術や仕組みを、いち早く生活に実装する環境を整備し、新たな価値を創造し続け、将来にわたって「住み続けたい」と感じられる便利で快適なまち

